

今週（6月18日から6月22日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、国債の大量償還日を迎えたことで20日以降の日銀当座預金残高が390兆円台と高水準で推移した。無担保コールO/N物は、参加者の資金ポジションが膨れているためか、調達サイドが薄く、運用サイドが厚めとなり、運用サイドの出し残りが目立つ地合いとなった。このため、加重平均レートは概ね▲0.07%前後での推移となった。業態別では週を通して地銀業態で▲0.086～▲0.050%、証券・信託・外銀業態で▲0.086～▲0.085%の出合いが見られた。ターム物は週を通してショートタームで▲0.08～▲0.07%の出合いが見られた。

固定金利方式の共通担保資金供給オペは、22日に2W・8,000億円がオファーされ、応札額1,260億円（期落ち額1,520億円）の札割れとなった。

●レポ市場

今週のGC O/Nは、概ね▲0.130～▲0.100%程度のレート水準で推移した。18日のT/N(6/19-20)は、▲0.115～▲0.105%の出合い。19日のT/N(6/20-21)も▲0.115～▲0.105%の出合い。20日のT/N(6/21-22)は、運用サイドしっかりで▲0.130～▲0.105%にレート低下。21日のT/N(6/22-25)は、▲0.120～▲0.115%の出合い。22日のT/N(6/25-26)は、短国3M物の発行があったもののレートは上昇せず、▲0.125～▲0.115%の出合いとなった。

SCは、個別銘柄では5y133～135、10y330～350、20y163～164、30y57～58、40y11等に引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、GCLレポレートが低下基調となったこともあり、閑散ながらも堅調な出合いが見られるマーケットとなった。

18日に実施された短国買入オペは、7,500億円でオファーされた。応札額が25,842億円と多く、平均落札利回較差▲0.001%、按分落札利回較差▲0.002%と小じっかりとした結果となった。

19日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.13%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1298%、按分落札利回▲0.1268%と無難な結果となった。セカンダリーでは、▲0.135～▲0.132%での出合いと堅調に推移した。

22日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.133%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1324%、按分落札利回▲0.1288%と堅調な結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は月後半に差し掛かり、鉄鋼、電力、ガス、ノンバンク業態から大型案件が見られたものの、月末近くに発行を予定している先も多く、週間発行総額は9,500億円程度と償還額とほぼ同額であった。市場残高は21日時点で5月末対比3,629億円増の17兆6,157億円と、引き続き良好な発行環境の下、事業法人を中心に積極的に活用されている様が窺える。発行レートは、投資家の運用ニーズの強さから引き続き0%近辺での決着が中心であったが、一部発行量の少ない銘柄では、ディーラーの玉確保の動きから浅いマイナスでの決着も見られた。6月末は他の四半期末に比べて有利子負債削減による市場残高の減少が緩やかなため、月内物と月末越え物のレートは同水準で推移しており、目立った差は見られていない。

●短期金融市場関連指標

	日経平均(円)	新発10年物 国債利回り(%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/18(月)	22,680.33	0.030	110.54	△0.069	△0.112	3,870,700
6/19(火)	22,278.48	0.025	110.14	△0.070	△0.111	3,878,000
6/20(水)	22,555.43	0.030	110.02	△0.073	△0.122	3,931,500
6/21(木)	22,693.04	0.030	110.58	△0.072	△0.122	3,932,800
6/22(金)	22,516.83	0.025	110.03	△0.075	△0.120	3,913,100

来週（6月25日から6月29日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
6/25 (月)	決定会合における主な意見(6月14,15日分 8:50) 4月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		5月の米新築一戸建て販売件数
6/26 (火)	5月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	20Y 10,000億円 6/27発行	4月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 6月の米CB消費者信頼感指数
6/27 (水)	1-3月期の資金循環統計速報(日銀 8:50)		5月の米耐久財新規受注
6/28 (木)	5月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	2Y 21,000億円 7/2発行	1-3月期の米GDP確報値
6/29 (金)	5月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 6月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 5月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 5月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 5月の消費動向調査(内閣府 14:00) 5月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TB3M 43,000億円 7/2発行	5月の米個人所得・消費支出 6月のシカゴPM景況感指数 1-3月期の英GDP確報値 6月のユーロ圏消費者物価指数速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/25 (月)	▲ 100	6,000	5,900	全店共通 CP買入 国債買入 国債補完 社債買入	▲ 1,500 ▲ 500 900 ▲ 200	1,300 9,900 1,800	11,700	17,600	TB3M発行▲44000償還42500
6/26 (火)	▲ 1,000	1,000	0				0	0	
6/27 (水)	▲ 1,000	▲ 11,000	▲ 12,000				0	▲ 12,000	20Y発行▲10000
6/28 (木)	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	
6/29 (金)	▲ 2,100	3,400	1,300	CP買入		2,500	2,500	3,800	地方税など
週間合計	▲ 5,200	1,400	▲ 3,800	—	▲ 1,300	15,500	14,200	10,400	

6/25は日銀予想、6/26以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き参加者の資金調達ニーズが弱く、無担保コールO/N加重平均レートは低位横ばいの地合いが予想される。特に四半期末にあたる29日は調達サイドの一層の減少が見込まれる。

レポ市場は、6月末初物のみ大きくレートが低下すると予想されるが、その他は今週と同程度での推移になると予想する。短国市場は、29日に3M物の入札が実施予定となっている。発行日が7月となり、堅調な相場が継続するか注目される。

CP市場は通常の資金ニーズに加えて税金や夏季賞与、株式配当などの支払いのため、月末に向けて発行量の増加が予想される。発行レートは、今週同様に浅いマイナスから0%近辺で推移すると予想する。26日にはCP等買入オペが月末スタートで2,500億円予定されている。四半期末の有利子負債削減による月末の市場残高減少が限定的なことから、大幅なレート低下が起こるとは考え辛く、按分レートは前回(▲0.007%)と同水準もしくは小幅低下が予想される。

主要なイベントとしては、海外では、28日に米国1-3月期GDP確報値、29日に英国1-3月期GDP確報値、6月のユーロ圏CPI速報値の発表等が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入